

東京江戸散歩 その式 浅草(下)



懐かしの花やしきもリニューアル

写真・文 七海邦夫

世評・時評

近年日本でも高齢者が増えてきています。平均寿命は男性が七九・一九才で世界第三位、女性が八五・九九才で世界第一位。その上一〇〇才を超えたお年寄り「百寿者」と呼ばれ、一九七〇年には全国で三〇〇人だったのに今年には三万人を超えたそうです。このうち八五%が女性であることに驚きです。

また百寿者がいる家系では、九十才以上まで生きる確率が百寿者のない家系の四倍以上だといふことです。要するに、長寿は生活習慣が大きく左右するので家族は似てくる、生まれつきの素質はせいぜい二、三割位らしいとのこと。慶応大学の医師が三百人の百寿者を調べたところ、几帳面で、負けず嫌いで、外向的な性格の人が多かった様です。長寿者の多い事で有名

江戸時代から昭和の初めまで浅草寺の周辺には見世物小屋や芝居小屋が集まり、日本一の盛り場だった。明治になってから東京府は浅草寺境内を浅草公園とし、西側の田圃を埋め立てた奥山に見世物小屋を移した。やがて浅草公園を本堂周辺の一区から馬道西側の七区までに分けた時、見世物興行街は六区となった。大正時代には、浅草オペラ、昭和に入ると映画やレビュなど庶民的な歓楽街として人気を集めた。

浅草公会堂前のスターの広場には芸能界の振興に貢献した吉永小百合、美空ひばり、長谷川一夫ら約300人の手形が押されたプレートが敷き詰められている。最後にグルメスポットを揚げれば、三定(天ぷら都内最古)、今半(すき焼き)、どぜう飯田屋、元祖釜めし春舟和本店、松本(ふぐ料理)、尾張屋(そば)、金泉(かき揚げ丼)、やっこ(うなぎ)、紀文寿司、雷門おすぎ(もんじゃ)、梅園龍園(中華)、アリゾナキッチン(永井荷風が愛した洋食店)、ヨシカミ(ビーフシチュー)、神谷バーと枚挙にいとまがない。食べ物好きにはこたえられない地域だ。次回は銀座。



(かくれみの)

な沖縄でも、戦後食生活が洋風になり中高年者の死亡率がどんどん上がっています。その原因は肥満とのこと。年を取ったら野菜を沢山食べて、体を動かすことが大切で、転ばないよう注意すると共に日々の摂生が長寿につながるという事らしい。

独言

さあ！
皆で「脳を鍛えよう」⑭

「可塑性」(かそせい)という、ちよつと聴きなれない言葉があります。「自由に姿・形を変えることが出来る事」という意味ですが、私達の脳にはまさにこの可塑性が備わっています。仮に、脳梗塞の後遺症で半身麻痺が残ったとしましょう。病院では即座にリハビリを開始します。医師は、根気良く少しずつでも動かすように仕向

けて行きます。続けていくと、発症直後には全くという程動かなかった麻痺側もある程度動くようになる事があり、この時、脳内で「可塑性」が発揮されているのです。右脳損傷では左麻痺が起きますが、「可塑性」によって右脳の替わりに左脳の一部が活動するというメカニズムで左半身が動くわけです。効果的なリハビリは脳の内部に新しい世界を築き上げる！素晴らしいことですね。

自画像



介護職 長谷川 美輪

六月から葵で働かせて頂き、はや三ヶ月が過ぎました。日々、失敗ばかりの私ですが、皆さんの笑顔に幾度となく助けられ、何とかここまでくることが出来て本当にありがたうと思っています。

日々子育てに追われ、すっかり「母」になっていた私でしたが、フラの世界に魅せられてからは「家庭での私」や「仕事での私」だけでなく、女性らしさや、ゆったりした時間を過ごす大切さを知り、新たな自分を見つけたいという余裕も出来た気がします。

クイズ

幾つ読めますか？
横山 稔

さて私の趣味ですが、二年半前に習い始めたフラダンスです。フラは、日本の能楽と同様、単なるダンスではなく、言葉の概念では捉えられないものであり、ダンス・演奏・詠唱/歌唱の全てが含まれているものです。

日本には、難しい読み地名や珍しい名前が沢山あります。左の中から幾つ読めるか挑戦してみてください。

- ① 鴨脚
 - ② 音更
 - ③ 乙訓
 - ④ 一尺八寸
 - ⑤ 古和釜
 - ⑥ 東風平
 - ⑦ 十八女
 - ⑧ 猿投
 - ⑨ 賦勺
 - ⑩ 賦勺
- (答え)
- ① イチヨウ
 - ② オトフケ
 - ③ オトクニ
 - ④ カマツカ
 - ⑤ コワカマ
 - ⑥ コチンダ
 - ⑦ サカリ
 - ⑧ サナゲ
 - ⑨ ノマエ
 - ⑩ フスク

利用者さんの紹介コーナー

黒瀬 彰義

勧められて葵に来るようになりましたが、気楽に運動ができ、体の調子も良くなった。再び登山をしたかと思っっています。



宮地 征男

平成十八年にくも膜下出血で入院、以前のような生活に少しでも戻ることを目標に頑張ります。



柳生 昭子

葵の世話になり一年七か月。リハビリ、お稽古と、今ある日々を楽しみ乍ら大切に過ごしたいと思っっています。今後ともヨロシク。



藤田 キクエ

通所して一年六か月、体操やリハビリで少し筋力も付き、歩く時も自信ができました。今後とも

宜しくお願ひします。



森田 田鶴子

葵にお世話になって六ヶ月になります。皆様良い方ばかりで楽しみです。毎日元気に通いたいと思っっていますので、宜しく。



三宅 文江

葵に通所して楽しい時間を過ごしています。体を動かしたり、話をしたりして元気になります。これからも宜しくお願ひします。



横山 稔

皆様いつもお世話になります。八月にTジョイ大泉で「最後の早慶戦」(昭和十八年)を見てきました。未だ、感激の余韻に浸っております。



随想

今日は

何の日?

伊藤 ユリ子

八月十二日の朝五時四十分には家を出て散歩に出かけた。ラジオを耳にしながら歩いてみると六時の時報と共に、今日は何の日でしよう?との声が開こえてきた。続いて、今日は昭和六十年八月十二日の日航機事故二十三回忌の日です。と……。

日本の航空機事故では過去最大の五百二十名死亡の惨事で、願ひればあの月日が流れていたので。改めて時の流れの早

旅行

和歌山

白浜温泉の旅

淡河 幸子

夫の墓参りの帰り、娘と白浜温泉のホテルに行きました。部屋には露天風呂が付いていたので一服してか



さに驚きました。遺族の方々は、今日も慰霊登山に行かれるとのことでしたが、台風による土砂崩れで登山道が寸断され、地元の方々の協力です。伊藤 ユリ子

八月十二日の朝五時四十分には家を出て散歩に出かけた。ラジオを耳にしながら歩いてみると六時の時報と共に、今日は何の日でしよう?との声が開こえてきた。続いて、今日は昭和六十年八月十二日の日航機事故二十三回忌の日です。と……。

米子

絵手紙



金茸
戦災疎開と激動の時代を生きて抜いてきた田舎ぐらしの中にも秋の茸とり
河口のハゼ釣は楽しい
思ひ出になった
秋深く九十九里の松林に出る茸

せんでした。実は事故当日、私たち親子三人は甥と共に上海におりました。テレビのニュースで事故のことを知り、ガイドさんから騒がないように注意を受けましたが、翌日は帰国の日程だったので、皆、内心動揺していたことは事実でした。

翌日、羽田に無事着陸した時は、誰からともなく歓声と拍手が沸きあがりました。時が流れ、いま私は病後三年半経ち、こうして葵さんにお世話になり、お蔭様で自分で散歩が出来るまでに回復できたことに感謝の気持ちと幸せを噛みしめています。ありがとうございませう。



夫の墓参りの帰り、娘と白浜温泉のホテルに行きました。部屋には露天風呂が付いていたので一服してか

出て、千畳敷へ。瀬戸崎先端から太平洋に突き出したスロープ状の大岩盤が荒波に侵食された壮大な景色で、岩盤の表面に縞模様が出来、自然の藝術作品の様です。娘は中程迄降りて、カメラで絶景を撮りまわっていました。

見えました。洞窟へ高速エレベーターで11秒で降りると、舟や舟具が展示されており、見物してから矢印をたどって行くと、廊下のようになっている岩の崖に黒潮が激しくぶつかり、跳ね返ると虹の様に光を映し、綺麗でした。

俳壇「あおい」

秋近し

蝉の合唱今しばし長袖に

いっしか替わる秋の風

青空に

白雲映えて

から十二羽

近原チエ子

白子川

長き堤のけふの月

孫は飯での敬老日

澤 道雄

一番の見所は日本一の弁財天。見上げるとやさしくほほみかける様に見えました。外に出るとお寺があり中を通らせて戴き拝観しました。帰りに浜に寄りました。白い砂浜がとても美しいと思っを見ると、「この砂はオーストラリアから輸入したもの」と書いた看板が立ててあり驚きました。車で高速道路をドライブして帰りました

編集委員会より

「あおい通信」は、皆様からの原稿を募集致しております。担当飯島迄お申し出下さい。

葵は「心と身体のリハビリ」で元気な「笑顔」を作ります